



## JUNBA 理事会 (第 182 回) 議事要旨

日時: 令和 6 年 2 月 15 日 (木) 16:00~16:55

場所: 日本学術振興会サンフランシスコ研究連絡センター(オンライン)

出席者: 12 名

【理事】 桜美林大学(丸山会長)、大阪大学(North 副会長)、名古屋大学(神山理事)

【事務局】 日本学術振興会(中別府事務局長(兼常務理事)、池田副センター長、田邊

【会員/オブザーバー】大阪大学(東澤)、名古屋大学(岡田)、三宅(立命館大学)、熊谷  
(PUBLIC HEALTH INSTITUTE)、在サンフランシスコ日本国総領事館(黒川、近江)

### 1. 会長挨拶(丸山マリ会長)

### 2. 活動報告:

活動報告なし。

事務局から、現在各大学に確認中で、早ければ 4 月からこれまでに報告をしていない大学から、活動報告を再開する予定である旨、報告があった。

3 月のトピックが未だに上がっていないため、会員から提供があると嬉しい旨、会長から共有された。

### 3. 理事会 議題・報告

JUNBA 事務局からのお知らせ

(1) 前回理事会の議事要旨について事務局から、事前に共有された資料について追加・修正等の意見がなかったことが報告され、原案どおり承認した。

(2) 各拠点の令和 5 年度の活動計画について

資料に基づき、活動計画について確認した。

黒川エグゼクティブアドバイザーから、これまでの領事館としての活動について口頭で説明があった。また、加えてエグゼグティブアドバイザー本人の米国での任期が 3 月に終わる旨報告があった。

### 4. 月例会 - (丸山マリ会長)

神山理事より「NCSES および NSF による米国の研究開発動向調査」の概要紹介があり、2022 年度の米国の研究費の状況について情報を共有した。

その後、米国及び日本の研究費の状況や寄付金にあり方について、会員同士での情報交換が行われた。

丸山会長から、Zoom 機能を利用したアンケートの実施について説明があり、今後の活動に関連したアンケートを行った。その結果を受けて、今後、Google form を利用して会員全員を対象にアンケートを実施したい旨説明があった。

最後に、3 月の理事会ではスコット副会長が話題提供をすることに決定した。

**2024 年 3 月 21 日** 2024-25 年度 JUNBA ミーティング・トピックとプランの検討

2024 年 3 月 15 日までに、討論テーマのアイデアを下記まで E メールでお送りください:

丸山マリ [mari\\_maruyama@obirin-gakuen.org](mailto:mari_maruyama@obirin-gakuen.org)

スコット・ノース [north@hus.osaka-u.ac.jp](mailto:north@hus.osaka-u.ac.jp)

小山智久 [tkoyama@tpnu.org](mailto:tkoyama@tpnu.org)

次回理事会の日程: 令和 6 年 3 月 21 日(木)16 時 00 分～(PST)

3 月 21 日(木)19 時 00 分～(EST)

3 月 21 日(金) 9 時 00 分～(JST)

(令和 6 年度以降の予定)

2024 年 4 月 25 日(木)

2024 年 5 月 23 日(木)